高岡市立博物館に親しむ会

KA JI MARU

鍛冶丸

第4号

平成27年
10月1日

今年4月に発足した
高岡古文書ボランティアの活動風景

主な内容

・高岡市雑感 …… 2
・平成27年度　総会 …… 2
・シリーズ「高岡古城公園」の魅力 第2回 … 3
・歩く博物館 …… 4～5
・高岡古文書ボランティアに参加して… 6～7
・呈茶席報告 …… 8
・博物館の催し　ご案内 …… 8
・会員募集のご案内 …… 8

高岡市雑感

― 市民一人一人が宣伝マンに ―

高岡市立博物館に親しむ会　監事　水　野　俊　雄

今年３月、北陸地区の長年の悲願であった「北陸新幹線」が金沢まで開通し、東京までの時間距離は一気に短縮された。これにより、東京へ行く人ならびに北陸へ来る人が著増し、観光面や経済面で好結果がもたらされている。

迎える側の高岡市には沢山の歴史遺産がある。国宝瑞龍寺、勝興寺・武田家・秋元家・菅野家・棚田家・気多神社・佐伯家などの重要文化財、山町筋・金屋町の重要伝統的建造物群保存地区、高岡大仏・前田利長墓所・古城公園・木舟城跡・守山城跡・御車山・万葉朗唱の集いなど10指では足りないほどの名所・旧跡・文化が存在する。最近では海越しの立山連峰が望める富山湾が、日本で唯一、世界の湾クラブに指定され、これ以上、何がいるのかという状況である。あとは、これらを自信をもって来高者や観光業者に、これ宣伝に努めることである。

ところで、私は新幹線開通直前の首都圏でのアンケート調査に唖然とした。高岡市の知名度が非常に低かったことである。これらの歴史遺産や高岡銅器があってもこの結果であった。もともと高岡市は商工業都市として発展し、観光には力が入っていなかった。過去は過去として、これからは、観光にも力点を移すべきである。

「高岡には何もないちゃという台詞は厳禁である」との多田慎一副会長の日頃のご意見に、全く同感である。私が京都でタクシーに乗った時、運転手がすかさず「お客さん、どこへ行きますか？決まってないなら、私が良い所をご案内します、ガイドもします」と言われた時はショックであった－高岡でこれに匹敵する運転手や市民はどれだけいるのかと。

新幹線が開通して、高岡にはこれから観光面で大きく飛躍する機会が与えられた。市民一人一人が宣伝マンとなって、観光地や新鮮な魚介類を提供する飲食店を紹介し、また、観光ガイドも増員させ、全国の人々から「北陸の名所」と言われるように頑張りたいと思っている昨今である。

平成27年度　総会

平成27年度総会

４月24日(金)午後１時30分、高岡市立博物館に親しむ会の総会が開催され、会員50名の出席があった。今年度事業計画、予算(案)並びに役員改選が承認された。太田会長は新しい役員のもとで会員相互の親睦と博物館への支援・協力を通じ、市民に親しまれる博物館づくりに貢献することを申し合わせた。晒谷館長は「現在、博物館に親しむ会の会員数は156名となり、皆さんの力で博物館活動を盛り上げ、また、親しむ会の会員数を現在の倍の人数に増やして行きたい」と抱負を述べた。(10/1現在の一般会員数254名、賛助会員14団体)。引き続き、当会研修部会の樽谷部会長に「城端線でめぐる郷土史」と題して講演いただいた。

親しむ会会長と副会長
右から太田会長、多田副会長、晒谷副会長

高岡市立博物館に親しむ会役員名簿　平成27年10月1日　現在

役　職	氏　名	所　　属
会　長	太田　久夫	富山県郷土史会会長
副会長	多田　慎一	裏千家淡交会高岡支部副支部長
〃	神保　成伍	元高岡市立博物館館長
〃	晒谷　和子	当館館長
幹　事	荒俣　勝行	美術コレクター
〃	稲塚　幸枝	高岡市美術館友の会監査
〃	宇波　真一郎	高岡古城ライオンズクラブ
〃	岡田　有弘	岡田美術店
〃	清水　静子	観光ガイドボランティア「あいの風」代表

	役　職	氏　名	所　　属
	幹　事	立野井　亮	高岡商工会議所青年部理事
	〃	樽谷　雅好	(公財)高岡市民文化振興事業団評議員
	〃	古谷　昭史	めんぽう美術
	〃	水上　悦子	版画家
	〃	近藤　昭美	裏千家正教授
新任	〃	般若　慎一郎	金屋町まちづくり協議会会長
	監　事	水野　俊雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」
新任	〃	中尾　光博	高岡市立博物館に親しむ会前事務局長

堀　の　水

高岡市立博物館に親しむ会　会員（やまたちばな参与）　沢田　健寿

堀の水はどのようになっているのでしょうか。

平成12年（2000年）建設省（現国交省）より「甦る水100選」に選出されました。

玄手川（千保川の支流・おとぎの森公園上流）の伏流水を導水管（350mm）により大手口まで約4.8km送水し、堀の水を浄化し、さらに千保川への排水によって積雪対策や市街地の浸水防止と一石三鳥の効果を上げていることが高く評価されたものです。

概観図をご覧ください。

水堀は築城時以来３つの独立した堀がそのまま残されています。「枡形堀」、「内堀・池の端堀・南外堀はひと続き」、「三の丸堀（北外堀）」です。３つの堀の水面は高低差があり、枡形堀と内堀の差は約2m、三の丸堀との差が約1mで、枡形堀が最も高くなっています。

築城以来、庄川扇状地の地下水で年中涸れることなく一定の水位を保ってきましたが、近年、堀の水の汚れが問題で上記の浄化策が一役かっているのです。

園内の流水は図のように６か所から導水され堀の高低差を利用して、最後は池の端堀から千保川へ排水しています。また、大手口の平成の滝は導水管より流水していますが、本丸からの朝陽の滝と古城の滝の水はポンプアップして循環させています。

このような施策によって夏場の悪臭が放つアオコの発生がかなり減ってきましたが、落葉の堆積による泥土の浚深など大きな課題が残されています。四季折々の豊かな自然を見せてくれる古城公園の水環境をどのように保全してゆくか、市民のさらなる関心と意識の高まりによってきれいな水を守り育てたいものです。

高岡古城公園　甦る水 100 選の概観図

高岡御車山の、あまり知られていない催し

高岡市立博物館に親しむ会　会長　太田　久夫

御車山祭りと言えば、大多数の人は五月一日の祭礼の日に、市中を巡行することだと思うであろう。

実は四月三十日に宵祭が行われる。各町の山宿では、曳山の台座に置かれる人形などが飾られる。ところで、二番町では午後六時半頃、町内の大人や子供が山宿前に集まり、手に提灯をさげて関野神社に向かう。一行は拝殿でお祓いを受けるとともに、大小の御幣をいただいて帰路につく。この時、笙・ひちりきが奏でられ、賑やかであった。山宿に着いて御幣が鳥居の上のカラスに結わえられて神迎えの行事が終わった。町内の代表が由緒について説明され、樽谷雅好研修部会長が補足説明された。

五月一日午後十二時三十分頃、二番町の山車を思わせる関野神社の御神輿が、博労小学校の方から極楽寺を訪れた。このとき神職と住職が、本堂を背景とした御神輿に御供え物を奉げられた。極楽寺はかつて時宗だったので、開祖一遍上人が悟りを開いた熊野信仰を残しているといわれる。そして関野神社の主座も熊野神なので、神職が訪れてお参りするのであろう。神職らは同寺で昼食をすませて帰っていかれた。また、午後一時には御車山が極楽寺へお参りに訪れた。

御車山祭りは前夜と当日このような催し物もあるので、当日の巡行だけでなく、ぜひ見ていただきたいと思う。

高岡御車山が寺院に詣でる

4月30日、5月1日「高岡御車山」の真髄を観る行程

神仏混淆の祭事を見学
関野神社の神輿が寺院に詣でる

表彰

当会会長の太田久夫氏は、県郷土史会長でもあり、９月19日に本年度の富山県部門功労（文化分野）の表彰を受けられました。県文化功労には、８名の方が選ばれております。

おめでとうございます。

当会の副会長の多田慎一 第一物産（株）代表取締役会長が10月２日に2015年度国税庁長官表彰を受けられました。

おめでとうございます。

歩く博物館 第11回の催し

国泰寺の「開山忌」を聴く

高岡市立博物館に親しむ会　会員（あいの風代表）清 水　静 子

法堂前にて

今年も行けなかった、来年こそはと思ってから10年以上はたったような気がします。あの幻想的な尺八の音色の中で行われる国泰寺の開山忌。「歩く博物館」の樽谷先生のおかげで、やっと実現しました。

竹の子飯で知られている太田地区の民家の奥の静寂の中に建つお寺。お寺の駐車場に車で乗り合わせた参加者、石段を登り、山門をくぐって境内に入り、法要の前に樽谷先生からお寺の説明があり、境内のいつもは扉が閉まっている建物やお堂を見学。当日は扉が開けられていて建物の中や、仏像やお位牌などをゆっくりと見ることができました。

開山国師を偲んでの開山忌法要が始まりました。

30人以上の頭を剃り上げて、落ち着いた法衣の僧侶の読経と尺八の音色。北陸では、禅宗の行事に遭遇する事はあまり無いので、幻想的で、さらに気持ちが凛と引き締まるおもいがしました。私が、一番心待ちしていた、開山堂へのお参りは雨のため、法堂内で行われました。虚無僧の全員が開山堂の方に向き、尺八を奏でられました。

利生塔

国泰寺は、北陸では数少ない臨済禅の道場で、臨済宗国泰寺派の大本山です。今から約７００年前、虚無僧妙音会の本山でもあるという事で開山忌、法燈忌には全国から数十人の虚無僧が集まり尺八を奏でるとの事です。

高岡の地に、こんなに立派なお寺が在るということを誇りに思います。

歩く博物館行事予定

「郷土史を訪ねて①　歩く博物館」―1万歩ウォークで「ふるさと再発見」

第13回　コース名「XⅡ. 伏木の歴史を味わう」

- 日　　時　１０月２４日（土）午前９時４５分～午後１時２０分頃
- 会　　費　参加費５００円＋交通費
- 集合場所　高岡駅２階待合室＝改札口正面
- 集合時間　午前９時３０分まで集合

第14回　コース名「XⅢ. 二上山々麓を遊ぶ」

- 日　　時　１１月１４日（土）午後１２時３０分～午後３時３０分頃
- 会　　費　参加費５００円＋交通費
- 集合場所　末広町バス停４番のりば＝ウィングウィング志貴野高校前
- 集合時間　午後１２時２０分まで集合

＊親しむ会の会員の方には10月上旬頃に案内書を別途送付いたします。

高岡古文書ボランティアに参加して

高岡市立博物館に親しむ会　会員　本保　澄雄

「博物館に親しむ会」では仁ヶ竹先生ご指導のもと、新部会として「高岡古文書ボランティア」が設立された。仁ヶ竹先生の長年の夢であったということでありその努力に対して心から敬意を表す。

私は以前から古文書には興味を持っていた。

定年退職後、放送大学で古文書の種類や取扱・修理・保存方法、読み方などを学んだ。また福岡町Uホールでの仁ヶ竹先生の古文書教室、富山県公文書館での安力川先生の古文書教室などを受講してきた。

とはいっても、そんなに読めるわけでもなければ整理できるわけでもない。ボランティアなどはるか遠い存在であり、「参加することに意義がある」という程度の軽い気持ちでの参加であった。

7月4日(土)初めて文書を手とり「古文書整理カード」の作成練習をした。古文書に表題を付け、大きさや日付、内容などを「古文書整理カード」に記入する作業である。

私が担当したのは、官庁などが発行した大正5年～１０年ごろの税金の『領収書』である。官庁制定の領収書用紙に毛筆で「金額」や「宛先」を書いた書類である。書かれた字数は２０字にも満たないものであるが、読めない文字が出てくる。見当はつくが確信が持てない。自分の力不足を痛感した次第である。

どういう文字だろうかいろいろと推測する。クイズを解いているようでこれが結構面白い。

解読できた時、これはこれでまた楽しいのである。「やったー」と叫びたくなる。たったこれだけで小さな自己満足に浸るのである。

次に、この領収書はどういう状況で発行されたものだろうか？その時のお金の単位はどうだったのか？経済状況や税制はどうだったのか？など、もっと知りたいという気持ちが出てくる。たった1枚の領収書でもその気になればいろいろと勉強ができるのである。

8月1日(土)前回に引き続き「古文書整理カード」の作成練習を行った。

私が担当したのは大正時代に書かれた個人の『小使帳』であった。これは内容が面白かった。数か月間の入出金を記入してあるのだが、「××様香典」「足駄の歯入れ」「お菓子」「孫へ」「お寺さんへ」というようなものもあった。『小使帳』にはその人の人柄が現れるものだとつくづく感じた。

「足駄の歯入れ」というのは私達よりも若い年代の人には分からないことだと思う。

磯田道史先生は『加賀藩士猪山家文書』を分析し『武士の家計簿』を著されたが、私は磯田先生の「万分の一」の気分に浸ることができた。幸いなことである。

古文書を通してそれぞれの時代やそこで生きた人々の様々な様子が浮かび上がってくる。古文書の楽しみの一つでもある。

「古文書解読に馴れが一番であり、数多くの古文書に接することが大事である。」また「文字を覚えるには文字を何度もなぞることだ。」といわれた(安力川先生)。そのためにはそれなりの努力が必要である。

今、手始めにと昔習った放送大学印刷教材や「新湊古文書に親しむ会」の『解読第２１集』を眺めている。遅々として進んでいない。最終目標は「新湊古文書に親しむ会」(昭和26年発足、平成6年度から毎年1冊古文書解読書発行、26年度北日本新聞「地域文化賞」を受賞）である。

「老いの学問」である。どこまでできるかわからない。またいつまで続けられるかもわからない。あまり欲張らずに気楽な気持ちで続けていきたいと考えている。楽しみながら、自己啓発(本当はボケ防止)も兼ね、少しでも博物館のお役に立てれば幸いなことである。

高岡古文書ボランティアに参加して

高岡市立博物館に親しむ会　会員　松 原　吉 孝

博物館で古文書講座を受講し１年ぐらいした後、ボランティアを募集していることを知り、参加の申し込みをしました。古文書について興味を持ったところでしたので、よいタイミングでした。

古文書を保管していくことの重要性の説明を聞き、最初はやや緊張しましたが、学芸員の方や一緒に参加している方々に教えてもらいながら古文書の整理をしていると、手順も分かってきて次第に面白くなってきました。埃っぽい物、虫食いのある物などもありますが、手を止めて読んでみたくなる古文書にも時々出会います。特に江戸時代の庶民の生活がよく分かる物は、思わず手を止め読み始めてしまいます。読みづらい文字ですが、ほんの一部分でも書いてある内容が分かると非常に嬉しくなり、その古文書に愛着もわき、より丁寧に整理、保管したくなります。

未整理の古文書も多くあるとのことですので、少しでも何か協力させてもらえればと思っています。時間もかかり大変な作業でもありますので、このボランティア活動の輪がさらに大きく広がっていくように願っています。

高岡古文書ボランティア募集案内

高岡古文書ボランティアでは、主に高岡市立博物館の所蔵・保管する古文書を調査・整理して、その活動を支援し、そして、高岡地域の歴史文化の振興・発展に寄与し、また、ボランティアの生涯学習に資することも目的としています。

参加を希望される方は、以下の内容をご覧いただき、ふるってご参加ください。

１．参加条件

・「高岡市立博物館に親しむ会」会員（同会の部会として位置付けます）

・古文書講座を受講したことのある方

（博物館「初めての古文書教室」以外の講座でも可、または古文書調査・整理の経験のある方）

２．参加費

なし（ただし「高岡市立博物館に親しむ会」の入会手続きが必要となります）

３．活動日時

【基本的に毎月第１土曜日の午後２時～３時30分に開催予定】

今年度開催予定は、**10/3、11/7、12/5、H28. 1/9、2/6、3/5**　です。

（変更があればご連絡いたします）

４．活動場所

高岡市立博物館（〒933-0044 富山県高岡市古城1－5／電話0766－20－1572）

５．参加方法

申し込み不要（当日、博物館へお越しください）

６．事務担当

仁ヶ竹 亮介（高岡市立博物館主査学芸員）

【事務局】　「高岡市立博物館に親しむ会」事務局

〒933-0044 富山県高岡市古城1－5／電話0766－20－1572

★また、併せて古文書の所在情報も求めています。
些細な情報でも結構ですので、ぜひお寄せください！

「呈茶と共に」春の呈茶席より

会員　裏千家近藤社中　　角間　敬子

私が小学生のころ、今の博物館は絵や習字を展示してもらった、うれしい美術館でした。母の袖を引っ張って作品の前に立ち得意だったことを想いだします。

あれから数十年想いだすこともなかった場所でしたが、近藤先生に茶道の指導を受け「博物館に親しむ会」の会員となり、週末呈茶のお手伝いをすることになりました。

遠くから訪れてくださる方、家族連れ、散歩の途中の方「ドラえもんを訪ねる旅」をしていたら茶室があったと喜んでくださるお客様に高岡の話を楽しく話される先生「一服いかがですか」「頂戴いたします」時には心静かに、時には楽しい語らいと共に過ごす時間は何よりの御馳走だと思います。

願わくば、もっと、もっと多くの方に博物館「松聲庵」に気楽に足を向けて欲しいと思います。

師から学ぶこと、お客様から学ぶこと、いっぱいあります。

これからも茶道「呈茶」と共に精進していきたいと思います。

秋（10/10,10/17,10/31）…各土曜日実施

博物館の催し　ご案内

開催日 年	開催日 月	開催日 日	会議・大会・イベント等の名称	備　考
～H28	3	31	常設展「高岡ものがたり」　― 楽しく知ろう！ひらめきミュージアム ―	無　料
27	～10	12	特別展「国史跡指定記念　高岡城跡の魅力」	無　料
27	10	1	ミニ講座 高岡のみじかい話「歩いて楽しむ高岡の見どころ①」　講師：晒谷館長	無　料
27	10	10	郷土学習講座　第３講「高岡城、古御城（ふるおしろ）から公園へ」　講師：仁ヶ竹主査学芸員	受講料 300円
27	10	10・17・31	呈茶席	参加料 300円
27	10 11 12	15・29 12・26 10・24	古文書講座「初めての古文書教室」　講師：仁ヶ竹主査学芸員	受講料 2000円（要事前申込）
27	11	5	ミニ講座 高岡のみじかい話「高岡御旅屋の歴史」　講師：宇川学芸員	無　料
27	11	7	呈茶の会「松聲庵　―博物館で抹茶を楽しみませんか―」	参加料 400円
27	11	21	郷土学習講座　第４講「考古学で見る高岡城と城下町」　講師：岡本淳一郎氏	受講料 300円
27	12	17	ミニ講座 高岡のみじかい話「利長・利常と天下普請」　講師：鎌田学芸員補	無　料
H28	1	14	ミニ講座 高岡のみじかい話「歩いて楽しむ高岡の見どころ②」　講師：晒谷館長	無　料
28	2 ～3	6 31	館蔵品展	無　料
28	2	6	ミニ講座 高岡のみじかい話〔展示解説〕館蔵品展　担当：宇川学芸員	無　料
28	3	17	ミニ講座 高岡のみじかい話「古文書にみる高岡鋳物師」　講師：仁ヶ竹主査学芸員	無　料

平成27年度　会員募集のご案内

高岡市立博物館に親しむ会では、随時会員を募集しています。博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行います。あなたも会員となって、郷土への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりに参加してみませんか。

■年会費
- 一般会員　1口 1,000円
- 賛助会員　1口 5,000円

■申込方法
入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えて「高岡市立博物館に親しむ会」事務局へお申込みください。

親しむ会では、各種部会のメンバーを募集しています。

1. **研修部会**　事業企画、歩く博物館等サポート
2. **広報部会**　会報誌「鍛冶丸」の作成
3. **ワークショップ部会**　呈茶席運営・サポート
4. **高岡古文書ボランティア部会**　古文書の整理など

高岡市立博物館に親しむ会　会報第４号
■事務局　〒933－0044　高岡市古城1－5　高岡市立博物館内
TEL 0766-20-1572　FAX 0766-20-1570
HPアドレス　http://www.e-tmm.info/　メールアドレス　info@e-tmm.info